

事務事業名		Y・Sセンター等維持管理事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	014 安心が「確保されたまちづくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	122 ともに支え合う地域福祉の推進			
	基本事業名	011 地域福祉の充実			
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 03 01 01 03	
所属	部課名	生活福祉部地域福祉課			
	課長名	三上 護			
	係名	福祉推進係	電話 27-3111		
	担当者	金野幸恵	内線 182		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 活力とるおいの丘リラスパークのあるまちづくり事業により、児童から高齢者にいたるあらゆる世代間の交流による学習、伝承、余暇活動、相互理解等の場を提供するため、大船渡市Y・Sセンターを整備し、平成4年度から社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会に管理運営を委託している。(大船渡市Y・Sセンターの設置管理に関する条例の第10条により、委託は公共的団体に委託することができる。)平成18年度からは大船渡市社会福祉協議会が指定管理者となっている。20年度より、利用料金制度を導入した。 委託業務は、(1)Y・Sセンターの施設、附帯設備及び物品の管理、(2)施設等の使用手続き等、(3)使用料の徴収、(4)施設等を使用して行う市民福祉の向上に資する行事等、(5)前各号に掲げるほか、施設等の設置目的を達成するために必要な業務 事業費は、指定管理者への委託料、その他修繕費や備品購入費等に支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
(社福)大船渡市社会福祉協議会は、委託業者としてふさわしい実績がある公共的団体であることから、見積書を徴し、予算の範囲内で委託契約を締結している。	ア 開館日数	日
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	
前年度と同じ	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・大船渡市Y・Sセンター及び利用者	名称	単位
	カ 大船渡市Y・Sセンター施設面積	m ²
	キ	
	ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
大船渡市Y・Sセンターの適切な管理運営してもらう。 大船渡市Y・Sセンターの施設、附帯設備を利用し、健康増進や学習・文化の向上を図ってもらう。	名称	単位
	サ 施設不具合修繕件数	件
	シ Y・Sセンターの収支比率(収入額/支出額)	%
	ス Y・Sセンター利用者数	人
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
福祉に関心を持たせ、正しく理解してもらう。 協力して積極的に福祉活動に取り組んでもらう。		

(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度 単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	30,956	31,363	28,731	33,280	33,500	33,500
			事業費計（A）	千 円	30,956	31,363	28,731	33,280	33,500	33,500
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	20	20	20	20	20	20	
		人件費計（B）	千 円	80	80	80	80	80	80	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	31,036	31,443	28,811	33,360	33,580	33,580	
⑤活動指標			ア	日	295	314	309	306	311	311
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	m ²	47,500	47,500	47,500	47,500	47,500	47,500
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	件	22	14	11	8	17	15
			シ	%	11.8	34.1	31	33.4	33.3	30
			ス	人	29,821	52,340	68,728	66,751	70,631	55,000

事務事業ID	0157	事務事業名	Y・Sセンター等維持管理事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
活力とうるおいの丘アスパークのあるまちづくり事業により、大船渡市Y・Sセンターを建設したことにより、管理運営をするため。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
H4の開設当初は、室内温水プールはもの珍しさもあり利用者数も多かったが、開設以来、年々利用者数は減少傾向にあった。震災後は、市内で屋内温水プールが1箇所となったことや、低額で入浴施設が利用できるため、利用者は震災前より増えている。 施設が老朽化しており、修繕箇所が増加している。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
低額で、入浴施設を利用できており、利用者からは、喜ばれている。修繕箇所が増加していることから、計画的に修繕を進める必要がある。 利用者の駐車場が少ないため、苦情が寄せられている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	あらゆる世代のための生きがいや健康づくりなどの拠点として整備された施設を管理運営することは、地域福祉の充実に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市民の福祉向上のため必要不可欠な施設として、市が設置した施設であるため。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	委託先である(社福)大船渡市社会福祉協議会の運営は、適正に行われている。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	利用を増やすためには、交通の利便性や駐車場の拡大を図る必要がある。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	他に、低額で利用できる室内温水プールはなく、年間を通じて、水泳による健康づくりや水泳教室をする公営の施設が市内にはないため。 また、被災者を中心として低額で入浴施設が利用できていることから、廃止や休止した場合の影響は大きい。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	Y・Sセンターは、ジムやトレーニングプール、和室、遊戯室などの多目的複合施設であり、統合はできない。なお、震災後、市民プールは復旧予定無し。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	大船渡市社会福祉協議会の運営は適正に処理されており、委託料を削減することはできない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	委託業務のための、所要時間はかからない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	施設の使用料の見直しを、定期的に行う必要がある。	

事務事業ID	0157	事務事業名	Y・Sセンター等維持管理事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 震災前の利用者が4万人台であったが、平成27年度は、7万人台と利用者が増えている。一方で、施設の老朽化により、修繕箇所が増えている状況がある。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 委託先である大船渡市社会福祉協議会は適正に管理運営しているため、継続して維持管理に努めてもらう。施設の老朽化で修繕箇所が増えている。小規模な修繕は、指定管理料での修繕対応としているが、大規模修繕箇所については、具体的な修繕方法などを検討する必要がある。 定期的な施設利用料の見直しをすることにより、事業の適切な運営を行う。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上			●																													
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 委託先である(社福)大船渡市社会福祉協議会は、現在、Y・Sセンターに事務所を置き適正に管理運営しているが、以前は総合福祉センターに事務所を置いており、H10年度から市の保健介護センターを総合福祉センターに置くため、Y・Sセンターの管理運営を委託したことから事務所を移動した経緯があり、特殊事情のため指定管理者として、(社福)大船渡市社協へ継続委託することが望ましい。 施設の老朽化で、修繕箇所が多く、施設の維持ができなくなる恐れがあるため、計画的に修繕する必要がある。																																	

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	地域福祉課長	三上 護
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 指定管理に関する事務執行であり適切に行われている。																		
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) これまでも、適切な管理・運営が行われている。引き続き、利用促進を図るとともに、必要に応じて利用料の見直しを検討する。また、施設の老朽化については、公共施設等総合管理計画で検討を進める。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☒ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上			●																													
	維持			×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
